

NGUYEN THI LAN HUONG (グエン ティ ラン フォン) さん (女性)
配属企業名：有限会社南條水産 日本入国日：2022年5月13日 (技能実習1号)

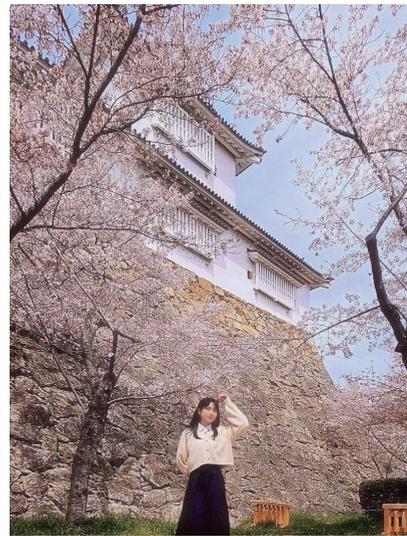
お花見に行って

昨日、私は先輩の2人と一緒にお花見に行きました。日本に来てもうすぐ一年になりますが、今回は初めて桜を見ました。前日の夜から先輩達とお弁当と飲み物を用意しておきました。当日の朝、10時に私の部屋の前で集合してから、出発しました。児島駅から電車に乗って、一回乗り換えて、3時間もかかりますが、やっと津山駅に着きました。電車を降りて5分ほど歩くと津山城が見えるようになりました。

津山城にたくさんお店が営業していました。たこ焼きや団子やお好み焼きなどが売っています。とても賑やかで活気のある雰囲気でした。コロナの影響で4年ぶり、桜宴会ですから、桜を楽しんでいる人がたくさん集まっています。ここはいろんな桜が咲いていて、綺麗でした。誰でも笑顔いっぱい顔をしていてお花見を楽しんでいました。桜の木の下でお弁当を食べながらお酒を飲んだり、おしゃべりしたり、歌ったりしました。春風が吹いていて、桜の花びらが舞い散って美しかったです。まるで雪のようでした。

その日は本当に楽しかったです。一部の日本の文化を体験することが出来ました。ぜひ来年もお花見に行きたいと思います。

何時か、家族にもこのお花見を経験されてあげたいと思いました。



フォンさんへ
記念品を贈呈しました。



NGUYEN THI HUYEN HUY (グエン ティ フイエーン フイ) さん (女性) ※文章と写真のデザインはフイさん本人がしました。
配属企業名：(株)サンデリカ平塚事業所 日本入国日：2019年10月18日 (技能実習3号)

自分で体験
する

他国姉妹情

グエン ティ フイエーン フイ(ベトナム人)によって書かれました。

清水典子さんとは昔から親しかった。彼女は中国国籍で、サンデリカ平塚事業所で一緒に働いている日本人の夫と結婚しています。ある日、涙を浮かべた彼女の目を見て、会いに行ったところ、彼女の父親が亡くなったことを知りました。(その時)、Covid-19の流行により、彼女は中国に戻ることができませんでした。私は彼女に同情し、大いに慰めました。それ以来、私たちはたくさんの事を語りあいました。お互いに国や言葉は違いますが、日本語は私たちをつなぐ架け橋です。私たちは(共に)、日本語を学び、日本を旅行するという同じ、趣味を持っています。毎週木曜日は一緒に日本語教室に通っています。【ここでは、教師は日本人で、学生は外国人です】。夕方にはビデオ通話をして一緒に宿題をしたり、夜遅くまで話したりしています。休みの日に外食、買い物、旅行など... 一緒に行きます。彼女は私が「独身であることを」になるのを見かねて、何度も日本人男性とマッチングさせてくれました。彼女は私のことを本当の妹のように気遣ってくれます。そして、私は彼女を姉のように愛しています。
「お姉ちゃん大好き」



フイさんへ
記念品を贈呈しました。